

問1 次のうち、たまごのすがたでうまれてくる動物の組み合わせとして正しいものはどれですか。

1. サルとウサギ 2. ヒトとイヌ 3. ネコとウシ 4. メダカとニワトリ

問2 母親の体の中にあり、受精卵（ヒトの子ども）が育つ場所を何といいますか。

1. 胎盤 2. 子宮 3. ヘそのお 4. 羊水

問3 胎児（たいじ）は、母親の体のどこで育ちますか。

1. 子宮（しきゅう） 2. 胃（い） 3. 心臓（しんぞう） 4. 肺（はい）

問4 子宮の中にあり、おなかの赤ちゃんが母親から養分など必要なものをもらい、いらぬものをわたす場所を何といいますか。

1. 心臓（しんぞう） 2. ヘそのお 3. たいばん 4. ようすい

問5 メダカやカエル、サケ、ニワトリなどのように、親が卵を産んでなかまをふやす動物を何といいますか。

1. 卵を産まない動物 2. おなかの中で育てる動物 3. 卵を産む動物 4. 親の体から直接生まれる動物

問6 ヒトの子どもは、生まれるまでに母親の体内で約何週間育てられますか。

1. 約38週間 2. 約24週間 3. 約10週間 4. 約50週間

問7 親と似た姿で生まれる動物と、たまごで生まれる動物をくらべたとき、受精卵の大きさにはどのようなちがいがありますか。

1. たまごで生まれる動物のほうが小さい。 2. 親と似た姿で生まれる動物のほうが小さい。 3. どちらの動物も同じ大きさである。 4. 親の体の大きさが大きい動物のほうが小さい。

問8 生まれ出てきたばかりのヒトの子どもは、だれからちちをもらって育ちますか。

1. 兄弟 2. 父親 3. 祖母 4. 母親

問9 おなかの中の子どもとたいばんをつなぎ、母親からの養分などを受け取るためのくだを何といいますか。

1. しきゅう 2. ヘそのお 3. ようすい 4. 心ぞう

問10 ヒトの赤ちゃんが生まれてくるとき、およその身長と体重はどれくらいですか。

1. 身長約10cm、体重約500g 2. 身長約30cm、体重約1000g 3. 身長約50cm、体重約3000g 4. 身長約70cm、体重約5000g

問11 たまごの姿で生まれる動物は、たまごの中で何を使って成長しますか。

1. 土の中から吸い上げる養分 2. 親の体から直接送られてくる養分 3. まわりの水や空気から取り入れる養分 4. たまごの中にあらかじめある養分

問12 ヒトの受精卵は、お母さんの子宮の中でどれくらいの期間育てられてから生まれてきますか。

1. 約38週間 2. 約20週間 3. 約10週間 4. 約60週間

問13 受精卵ができるときに、卵（卵子）と結びつくものは何ですか。

1. 精子 2. 羊水 3. ヘそのお 4. 胎盤

問14 母親の子宮のかべにあり、ヘそのおを通して胎児とつながっている、養分などをやりとりする部分を何といいますか。

1. ヘそのお 2. しきゅう（子宮） 3. たいばん（胎盤） 4. ようすい（羊水）

問15 メダカやニワトリなどのように、親の体からたまごの状態で生まれてくる動物のことを何といいますか。

1. 赤ちゃんのすがたでうまれてくる動物 2. たまごのすがたでうまれてくる動物 3. さなぎのすがたでうまれてくる動物 4. 親と同じすがたでうまれてくる動物

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 4 メダカとニワトリ	メダカやニワトリ、サケ、カエル、カメ、ヘビなどは、たまごの状態生まれてくる動物です。
問2	答え 2 子宮	母親の体の中で、受精卵（ヒトの子ども）が育つ場所を子宮といいます。
問3	答え 1 子宮（しきゅう）	胎児は、母親の体の中にある子宮という場所で安全に育ちます。
問4	答え 3 たいばん	子宮の中にあり、母親から養分をもらったり、いらないものをわたしたりする場所をたいばんといいます。
問5	答え 3 たまご 卵を産む動物	メダカやカエル、サケ、ニワトリなどのように、親が卵を産む動物のことを「卵を産む動物」といいます。
問6	答え 1 約38週間	ヒトの子どもは、母親の体内で約38週間かけて十分に育てられてから生まれます。
問7	答え 2 すがた 親と似た姿で生まれる動物のほうが小さい。	親と似た姿で生まれる動物の受精卵は、たまごで生まれる動物の受精卵よりも小さくなっています。
問8	答え 4 母親	生まれたばかりのヒトの子どもは、母親からちちをもらって育ちます。
問9	答え 2 へそのお	子どもとたいばんをつなぎ、母親から養分などを受け取るためのくだを「へそのお」といいます。
問10	答え 3 身長約50cm、体重約3000g	ヒトの赤ちゃんは、子宮の中で身長約50cm、体重約3000gまで大きく成長して生まれてきます。
問11	答え 4 たまごの中にあらかじめある養分	たまごの姿で生まれる動物は、たまごの中にあらかじめ養分が用意されているため、それを使って成長します。
問12	答え 1 約38週間	ヒトの受精卵は、お母さんの子宮の中で約38週間かけて大切に育てられ、十分に成長してから生まれてきます。
問13	答え 1 精子	受精卵は、卵（卵子）と精子が結びつくことによってつくられます。
問14	答え 3 たいばん（たいばん） （胎盤）	母親の子宮のかべにあり、へそのおを通して胎児とつながっている部分をたいばん（胎盤）といいます。
問15	答え 2 たまごのすがたでうまれてくる動物	メダカやニワトリのように、たまごの状態生まれてくる動物のことを「たまごのすがたでうまれてくる動物」といいます。